

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動と学習の放課後等デイサービス みらいズ		公表日	2026年 3月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。		○		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご利用前後に保護者へ要望等聴取出来る限 り対応を工夫している。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。		○	訪問先での対応の様子を、他職員にも更に周 知する必要性を感じている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。		○	子ども部会等による研修には参加している が、更に学びの場を設け、支援スキルの向上 を目指したいと考えています。	
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		サービス導入前には、サービス担当者会議を 開催し、情報の共有・支援の方向性を話し合 うようにしている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		行っている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		計画が常に確認できるよう、報告書には目標 を記載し対応を行っている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		放課後等デイサービスをご利用頂いているこ どもへの支援を行っているため、アセスメン トは共通のものを使用し行っている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○		行っている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		現状1人の訪問員で行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○		現状1人の訪問員で行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		現状1人の訪問員で行っている。 気づきなどは記録に残し共有している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		支援内容などを決めていく際に必ず、訪問先 のご意向を確認している。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		毎回記録し、報告書を訪問先に次回渡すよ うにしている。合わせて申し合わせ事項や訪問 先の先生の意見も記録している。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○		訪問の度に行っている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		連携を取りつつ行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		子ども部会主催の研修にもれなく参加している	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		必ず参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問後は報告LINEを送らせて頂いている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		放課後等デイサービスにて療育参観を行い積極的に参加を促している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にお伝えしている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		サービス開始前に行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		餅つきを年末に行い、保護者同士交流できるようにしている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご相談頂いた際には、関係機関とも連絡を取り合い迅速に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		放課後等デイサービスの様子をInstagramにて掲載している	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		理解のレベルに合わせて、コミュニケーションをとっている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		毎回行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後、LINEで毎回様子を報告している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	身体拘束は行っていない。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動と学習の放課後等デイサービス みらいズ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2件	(回答数) 2件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多機能事業所で有るため、保育所等訪問支援・児童発達支援・放課後等デイサービスとの連携が密に行える。	・保護者からのご要望にお応えし、訪問先との連携や情報の共有を密に行い、日程調整などもフレキシブルに対応している。	・今後も訪問先や保護者様とも継続的に情報の共有を行い、支援の見直しや改善を行っていく。
2	・課題に対する支援が訪問以外のサービス利用時に継続して行う事が出来る。	・保育所等での課題に対して、事業所でも情報を共有し、サービスや支援が切れ間なく行える事。	・各サービスに垣根がなく支援が継続できることは当事業所の強みであるため、全職員で情報を共有しサービス・支援を実施していく。
3	・各サービスとの兼務職員が担当するため、お子さまとの関係構築が容易。また、馴染みの職員が担当する事でお子さまの保育所等での受け入れられやすい。	・お子さまとの信頼関係を第一に考え対応する事を心掛け支援を行っている。	今後も、お子さまはもちろん訪問先、保護者様にも信頼して頂けるようにお子さま第一主義で支援させていただきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援についての経験不足。	・保育所訪問支援は事業所として新しい事業で有るため経験不足は感じています。	・様々な研修に参加したり、公的な研修などを通して知識を深め対応力強化、支援の質の向上を図っていきます。
2	・訪問支援員の育成。	・訪問支援が1名体制で行っている。	・今後は訪問支援員の増員を計画している。同行訪問を行い業務内容、連携方法など共有していく。
3			